

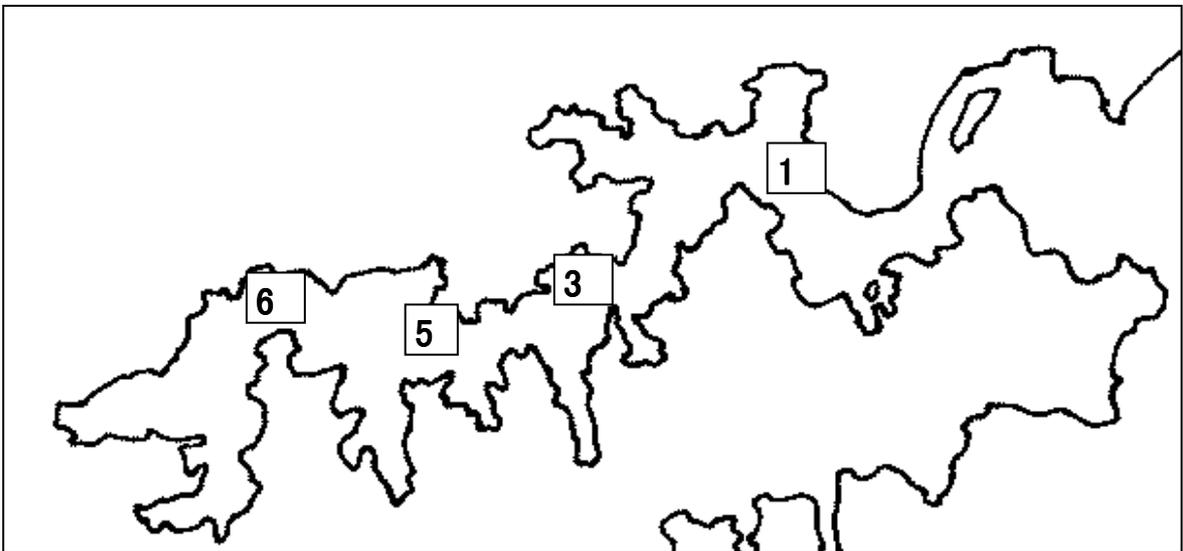
### 1月15日 浦ノ内湾の環境・プランクトン調査結果

定期的を実施している浦ノ内調査の結果をお知らせします。  
今回は、有害なプランクトンは出現しませんでした。

前回（1月6日）の調査で高密度に出現していた珪藻類は、ほとんど見られませんでした。

海中に、泥のような粒子が漂っているのが観察されました。  
正体は不明ですが、珪藻の死骸などが固まったものである可能性があります。

なお、湾奥部の透明度が非常に高く、調査点5では、13.9mでした。  
調査点5における、過去の最高値は10.0m、1月の平均は5.5mとなっています  
（1997～2007年調査）。



	観測層	水温	塩分	溶存酸素	珪藻類 キートセロス属	珪藻類 ユーカンピア属
	(m)	(°C)		(mg/l)	(cells/ml)	(cells/ml)
6 水深(m) 13.7	0	11.4	32.8	8.7	0	0
	2	11.4	32.9	8.7	0	0
	5	11.3	32.9	8.8	10	0
	10	11.2	32.9	8.8		
	B-1	11.1	32.8	8.7		
5 水深(m) 17.0	0	12.1	33.1	8.4	0	16
	2	12.1	33.1	8.4	0	0
	5	12.3	33.2	8.3	1	0
	10	12.3	33.2	8.3		
	B-1	12.3	33.2	8.2		
3 水深(m) 18.5	0	12.8	33.3	7.9	0	0
	2	12.9	33.4	8.0	0	0
	5	12.9	33.4	8.0	0	0
	10	12.9	33.4	8.0		
	B-1	13.4	33.5	7.8		
1 水深(m) 10.9	0	14.3	33.2	7.7	0	0
	2	14.1	33.5	7.7	5	0
	5	14.0	33.5	7.6	0	0
	B-1	14.0	33.6	7.6		